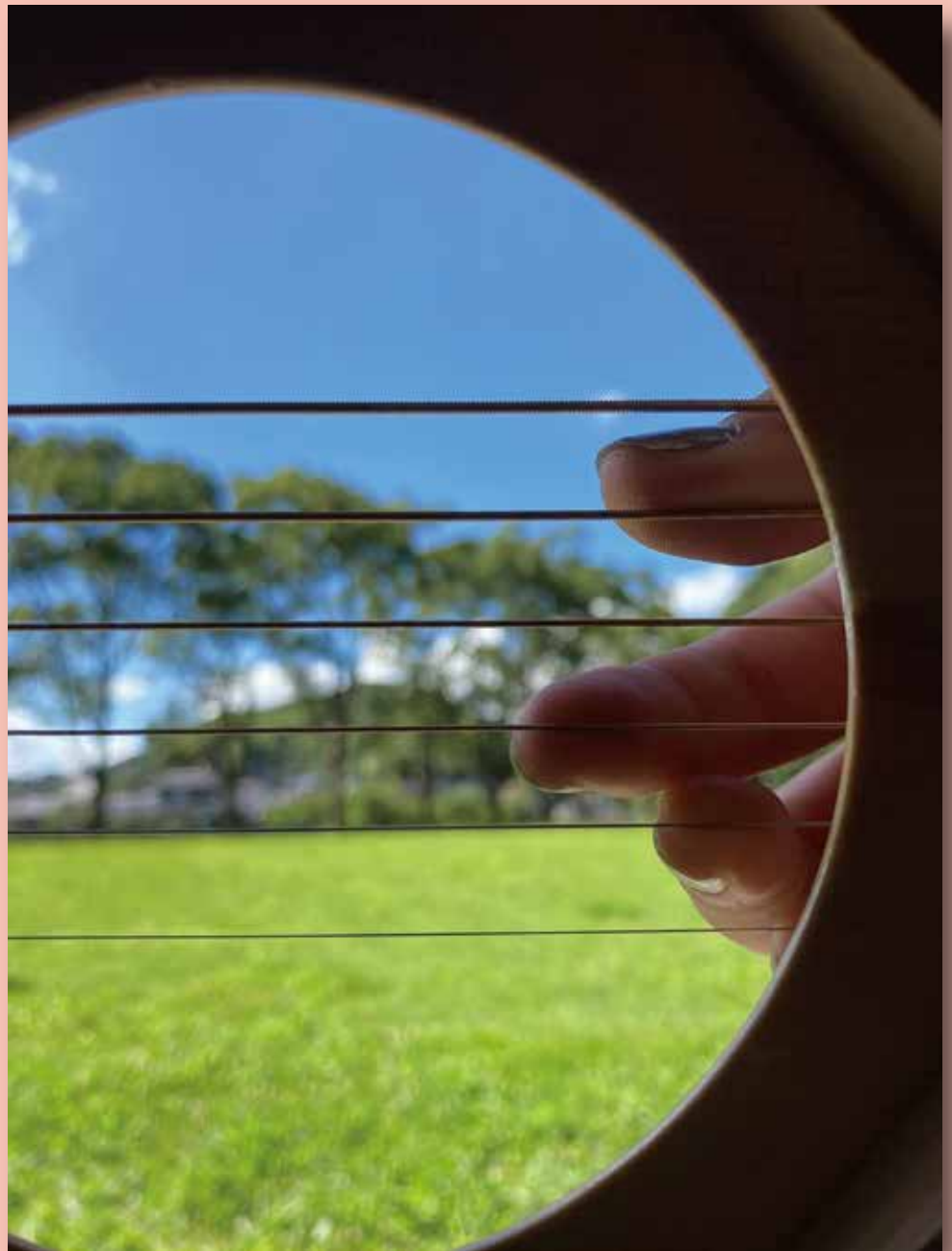


「音」を形にしたい

コンセプト（制作意図）は、写真で「音」を表現する。
ギターから奏でられた音は、外気へと広がり、周りをすがすがしい気持ちに
してくれます。
陶芸部に所属し、作品制作のかたわら、1年次に趣味で撮影した作品が、
長崎オンライン文化祭 写真部門で第2席となる優秀賞に選ばれました。



長崎オンライン文化祭 アート部門 写真部門 優秀賞 『秘密の場所』

ここに注目!

令和3年度 予算案 決まる

- 過去最高額 -

はさみ

No.154 令和3年5月号

議会だより

今月の
はさみの人

やました かりん
山下 花鈴 さん
波佐見高校 美術・工芸科 2年

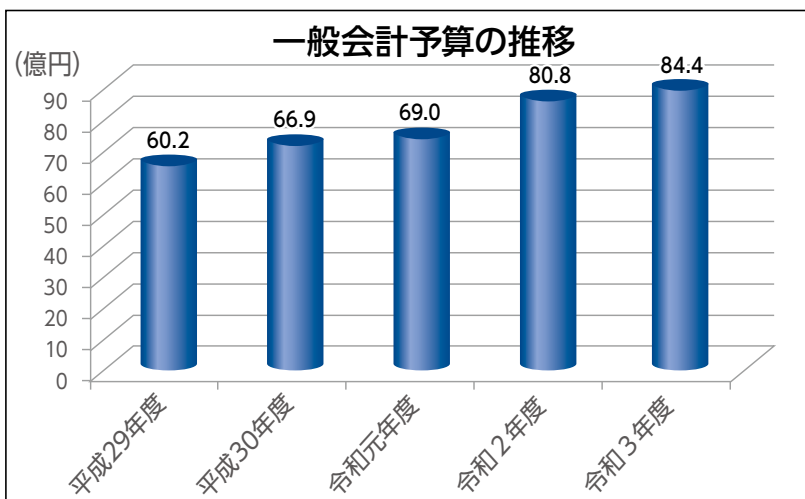


令和3年度

一般会計予算 84億4100万円

昨年度より3億6000万円の増

予算概要

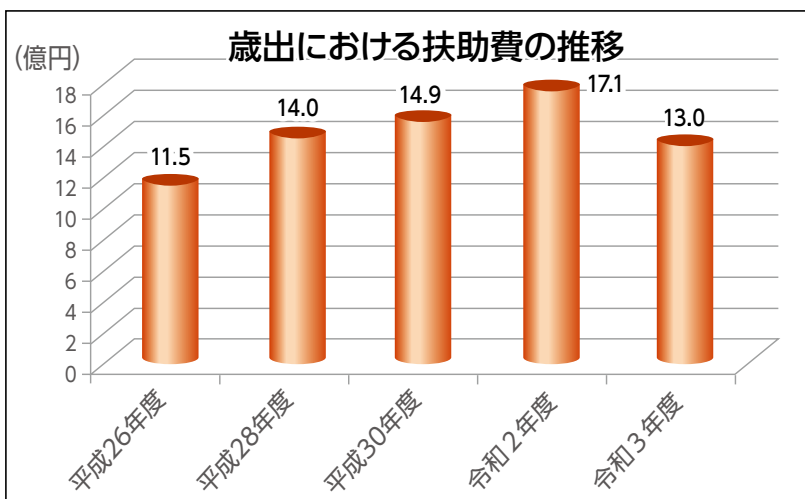
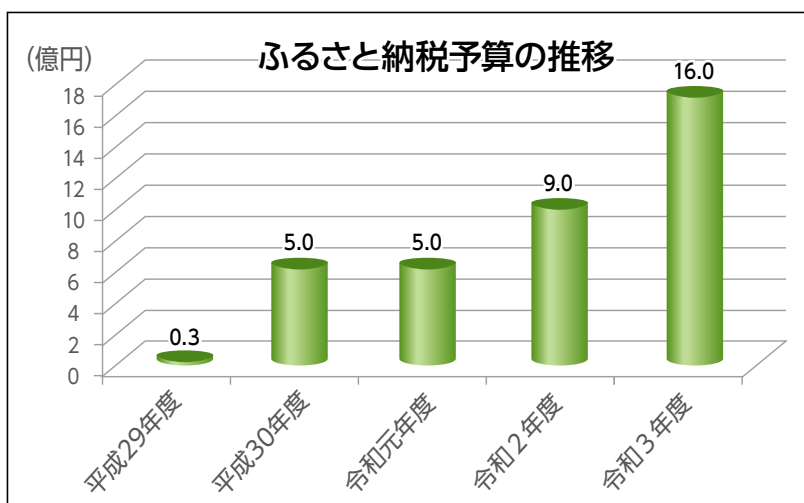


この数年で波佐見町の予算は大きな伸びを示し、5年前と比べて1.4倍となっています。

また、歳入では依存財源(国・県交付金など)が昨年度の61.4%から54.6%に減り、自主財源(町税・寄附金など)が38.6%から45.4%と増えています。

昨年度のふるさとづくり応援寄附金(ふるさと納税)は大きな伸びを示しました。一昨年度より7億円増の16億円となり、自主財源の割合が大きくなっています。

本年度は約5億5千万円を活用基金とし、中小企業・小規模事業者の経営安定支援や安心安全まちづくり事業などが推進されます。



扶助費は、少子高齢化により毎年増えていましたが、こども園の給付金の減額や障害者支援、生活介護のサービス需要などが前年度と比べ減る見込みとなっています。

※予算特別委員会質疑については4～5pに掲載。

「ふるさと納税」どう使われているの？

必要経費を差し引いた額が「ふるさとづくり応援基金」として積立てられます。
基金の一部が一般会計への繰入金となり、多くの事業に活用されています。
令和2年度も多額の寄附（約18億円）が寄せられました。

令和3年度の関係予算は次のとおりです。

収入 1,600,041	内訳	報償費	480,000
		需用費	451
		役員費	86,407
		委託費	138,364
		使用料及び賃借料	128,032
		積立金	766,787

ふるさとづくり応援基金	令和2年度末見込額	令和3年度繰入額	令和3年度積立額	令和3年度末見込額
	1,209,516	554,000	766,787	1,422,303

今年度の活用事業の主なものは次のとおりです。

活用事業	金額(千円)
中小企業・小規模事業者支援事業	144,300
安心安全まちづくり事業	138,400
町並み整備事業	56,400
「移・職・住」促進事業	49,200
波佐見ファン拡大事業	47,200
教育環境整備事業	34,800
給食センター設備等充実事業	24,000

*詳しくは4月配付の波佐見まちづくり計画に掲載されています。



- ・報償費（納税者への返礼費用）は、3割以下と決められています。
- ・収入の半額以上が返礼品と諸費用に使われているのが分かります。
- ・今年度当初予算の自主財源は45.4%、その内19.2%がふるさと納税等の寄附金です。
- ・歳入における町税の割合と比べ、寄附金への依存度が大きいのは不安要因ではないでしょうか。

総括

Q ふるさとづくり応援基金はどのくらいか。

A 令和3年度末で約14億2000万円となっている。

Q 地方交付税が1億円増額となった要因は。

A 国の地方財政計画に基づき算定されるが、高齢者人口の増、道路の延長などが考えられる。

Q コロナ禍において、収支のバランスは一時的なものか、中長期的なものか。

A 基本的に中長期的に考えながら編成している。

Q 今回の予算編成にあたって重視した点は。

A ふるさと納税を約5億5000万円活用してのプレミアム商品券の発行など、町民の手助けができるように対応した。

歳入

Q 固定資産の減免申請は。

A 家屋では、全額減免が45件の1040万6000円、50%減免が25件の228万円ほどである。

Q 岩峠駐車場使用料は、コロナの影響があると思うがどうか。

A 福岡の回復次第と考える。



岩峠駐車場

Q 歴史文化交流館ミュージアムグッズ売上収入とあるが、販売内容は。

A 長崎国際大と開発しているオリジナルのコンプラ瓶を考えている。

総務費

Q マイナンバーカードの交付状況は。

A 2月末現在で5076枚交付し、34.68%となっている。

Q ケーブルテレビの普及に関してどの程度予算計上しているか。

A 新規回線の配線の補助に162万円、有線放送設備の撤去に921万6000円である。

Q 運転免許証返納者の件数は。

A 令和元年度は52件、2年度は36件の申請があった。

Q 職員研修委託料とは。

A 官製談合事件を受け、職員研修を充実させたいと新たに計上したものである。

Q ながさき移住サポートセンターを通じて、本町に移住された方は令和2年度何世帯か。

A 6世帯の移住があった。

Q 地域おこし協力隊の今後の募集は。

A 新規の募集は予定していないが、各課で要望があれば、積極的に募集をかけていきたい。

民生費

Q 高齢者タクシー利用助成費の内容は。

A 免許を持たない75歳以上の方に1万2000円分のタクシー券を助成するもの。

Q 新規保育士住居支援事業費補助金の実績は。

A 令和2年度はゼロである。3年度は新規採用予定があるということで2名分子算計上している。

Q 放課後児童クラブICT化推進事業費補助金の事業内容は。

A 児童の入退出のICT化やオンライン会議など、ICT機器の導入にかかる環境整備に関する補助金である。

衛生費

Q 水質検査の場所は。

A 野々川ダム放流口、田別当、井石の産廃処理場跡地、村木のニシケン工業、日興紡績の5か所。

Q 町民霊園管理費の手数料の内容は。

A 霊園区画の植栽の剪定など。



労働費

Q 勤労福祉会館は避難所に利用されているが、老朽化が見られる。改修の計画はあるか。

A 数年前に耐震化の補強工事を行っており、使える部分は使っていきたい。

農林水産業費

Q 鳥獣被害防止対策実施隊員報酬は何名分か。

A 狩猟税や登録手数料などの諸経費の補助金として会員32名分を計上している。

商工費

Q 廃石膏リサイクル支援事業費補助金は今年度非会員が対象のようだが、何件程度予定しているか。

A 140社程度見込んでいる。

Q プレミアム商品券は前回余剰分の追加販売で混乱があったが、何か対策は考えているか。

A 今年度は、販売期間を長くし買い漏れがないように努める。

Q R.V.パークでのWi-Fi環境はどうか。

A ワーケーションを見据え、整備する。

土木費

Q 西ノ原土地区画整理事業の今後の工事予定は。

A 令和3年度は環状線の道路を予定している。

Q 移転補償調査の委託先は。

A 専門業者に委託する。

消防費

Q 避難所用のテレビ購入費とは。

A 勤労福祉会館に1台購入予定。

Q 防災備蓄倉庫購入費とは。

A 勤労福祉会館に8㎡ほどの倉庫を1基購入予定。

教育費

Q スクールバスの利用状況は。

A 中央小学校が25名、南小学校が29名となっている。

Q 南小学校でグラウンドの芝生化がなされたが、東小、中央小ではどうか。

A グラウンドで野球をやっているため全面芝生は向かないと考える。

Q 歴史文化交流館の管理費にケーブルテレビ、AEDリース料が計上されていないが、検討してはどうか。

A オープンまでには設置したい。



歴史文化交流館

波佐見町職員倫理条例



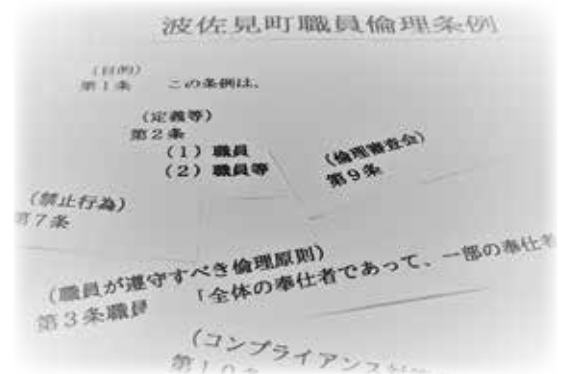
可決

町長は、職員が短期間に二度にわたり逮捕されたことに伴い、職員の倫理規範の見直しを行った。

職員の倫理規程を条例化するために多くの時間を費やし、職員が一丸となって英知を出し合い条例化に取り組んだ。

官製談合再発防止等調査特別委員会では、職員がどのようにすれば町民の不信を払拭でき、三度官製談合などの事件発生防止となるかについて真剣に協議を重ねた。

令和3年3月30日の議会において、「波佐見町職員倫理条例」は全会一致で可決された。今後、職員倫理規則やコンプライアンス・ガイドラインなどの作成において、職員一人一人の心に響く実効性のあるものとなるよう期待している。



波佐見町 RV パーク

～設置及び管理に関する条例～



可決

本条例は、キャンピングカーユーザーや車中泊愛好者が快適に安心して使用できる 車中泊専用駐車場 (RV パーク) の設置及び管理について必要な事項を定める。

- ☆ 名称：RVパークsmart ミナミ田園パーク
- ☆ 場所：波佐見町岳辺田郷1300番地2
- ☆ 利用時間：13時～翌日12時
- ☆ 予約方法：ネット上にて予約
町ホームページと連携
- ☆ 利用料：2,500円
- ※ 年間100台の利用者を目標としている。
- ※ 夜間の利用も想定されるため地元自治会などへ周知し、理解促進を図る。



波佐見町歴史文化交流館

～ 設置及び管理に関する条例 ～



本町の歴史、文化、伝統に関する資料を収集保管し、研究し、展示公開等することにより町民の教養及び歴史文化の発展並びに交流人口の拡大に資するための拠点として整備された波佐見町歴史文化交流館の設置及び管理について必要な事項を定める。

(入 場 料) 無料。ただし特別資料展示の場合は有料とする。
(18歳以下の者は免除)

(開館時間) 午前 9:00～午後 5:00

(休 館 日) 毎週火曜日及び年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

(施設の使用) 許可を必要とする施設は使用できる。



波佐見ミュージアム

7月21日開館

新型コロナウイルス感染症対策や運営体制の準備などで開館が延期。
開館日には、セレモニーや記念講演が予定されている。

波佐見町使用料及び手数料条例 の一部を改正する条例



波佐見町歴史文化交流館の設置及び管理に関する条例の制定に伴い使用料を定める。

波佐見町歴史文化交流館使用料

区 分	使 用 料		摘 要
	使用単位	金 額	
講座室 交流室 (和室北側)	昼間 1 時間 (9:00～18:00)	250円	冷暖房使用の場合 1時間当たり 200円追加
	夜間 1 時間 (18:00～22:00)	300円	
	1 日 (9:00～22:00)	3,000円	
喫茶室 (テナント)	月 額	15,000円	設備使用料を含む光熱 水費は別途実費徴収
前庭・駐車場	1 日 (9:00～22:00)	2,000円 (1 ブース)	

※営利を目的として使用する場合の使用料は、100分の200とする。ただし、喫茶室(テナント)、前庭・駐車場を除く。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」を政府に対し提出を求める請願



12月定例会で総務文教委員会に付託され、3回にわたり審議が行われた。
3月定例会において「核禁止条約の必要性は理解するが、条約内容や外交に関する事で、町の権限と考えるには疑問があり、慎重な取り扱いが必要」との意見を踏まえ、賛成少数での不採択との報告がなされた。
本会議での審議の結果、否決された。

賛成討論 三石 孝 議員

被爆国の日本国民として、また被爆県の県民として当然の行為であるため、請願の提出に賛成する。

町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例 町長及び副町長の減給案



先の官製談合事件と職員の有罪判決を受け、町長及び副町長の減給条例改正案を賛成多数で可決した。

- ・一瀬町長 減給 20%、4か月
- ・村川副町長 減給 40%、1か月

新副町長に 前川氏を選任！



前川 芳徳 氏

3月末で退職した前副町長村川浩記氏の後任として、前川芳徳氏（62）を選出する人事案が3月定例会に提出され、賛成多数で同意されました。

前川氏は昭和52年に入庁し、商工振興課長や企画財政課長を務められました。

副町長の任期は令和3年4月1日からの4年間となります。

賛成討論 城後 光 議員

企画財政課長としてふるさと納税の納税額大幅アップに寄与され、「どうしたら稼げる町になるか」という部分に非常に注力された。

反対討論 三石 孝 議員

現職時代に差別的発言や行政の公平さを害する行為があり、人格的に問題を抱えている。一瀬長期政権には、民の考え方が欠如している。民間出身者がベストである。

閉会中の行政調査

議会運営
委員会

調査内容：タブレット端末の導入状況

日程：令和3年1月20日(水) 有田町議会(現地)
令和3年2月1日(月) 佐世保市議会(テレビ会議)
令和3年2月2日(火) 武雄市議会(テレビ会議)

総務文教
委員会

調査内容：波佐見町歴史文化交流館(仮称)整備工事の進捗状況

日程：令和3年2月2日(火) 教育委員会

調査内容：教育委員会事務局の新庁舎への移転と事務局職員体制

日程：令和3年2月16日(火) 総務課

産業厚生
委員会

調査内容：新型コロナウイルス対応支援策を含む所管事務調査

日程：令和2年12月15日(火) 建設課、商工観光課
令和3年1月12日(火) 農林課、長寿支援課
令和3年2月18日(木) 住民福祉課、水道課

賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

		議席 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	会議の 結果	
		議員名	澤田 昭則	岡村 真由美	田添 有喜	岡村 達馬	福田 勝也	城後 光	横山 聖代	三石 孝	北村 清美	脇坂 正孝	藤川 法男	今井 泰照	尾上 和孝		
3 月 定 例 会	処 分 決	・令和2年度一般会計(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	予 算	・令和3年度一般会計他6会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決	
	補 正 予 算	・令和2年度一般会計(第9号) ・令和2年度特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道) ・令和2年度企業会計(上水道)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条 例	・波佐見町RVパークの設置及び管理に関する条例 ・波佐見町職員定数条例の一部を改正する条例 ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・波佐見町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例 ・波佐見町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・波佐見町介護保険条例の一部を改正する条例 ・波佐見町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 ・波佐見町町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例 ・波佐見町消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・波佐見町職員倫理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	可決
	会 則	・波佐見町歴史文化交流館の設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	可決
	議 案	・町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	可決
	議 案	・「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」を政府に対し提出を求める請願	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	否決
	議 案	・指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可決
	議 案	・波佐見町固定資産評価審査委員会委員の選任(1名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	同意
	議 案	・副町長の選任について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

3月定例会

10人が登壇

一般質問



令和3年3月定例会では、10人が下記の内容で一般質問を行いました。
3月定例会会議録は、5月中旬ごろ町ホームページへ掲載します。

<https://www.town.hasami.lg.jp>

※は掲載項目です。

ページ	議員名、質問項目	ページ	議員名、質問項目
11	<p>田添 有喜</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・河川整備に係る河川内の樹木伐採と浚渫 ・道路整備 ※・教育行政 	14	<p>澤田 昭則</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・新型コロナウイルス対策支援事業 ※・施政方針 ※・町民霊園
		・	
12	<p>城後 光</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・自治会を取り巻く環境変化に関わる対応 ※・歴史文化交流館開館後の「陶芸の館／観光交流センター」の活用 	15	<p>脇坂 正孝</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・施政方針
・			
13	<p>福田 勝也</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・新型コロナウイルスワクチン接種 ※・波佐見町職員採用試験 		<p>岡村 真由美</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・県立波佐見高等学校への支援策 ・ふるさと教育の推進
	<p>藤川 法男</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・波佐見町の産業振興 ・施政方針 	16	<p>尾上 和孝</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・危険な空き家など ※・施政方針
		・	
14	<p>岡村 達馬</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・波佐見町の町づくり整備 ※・新庁舎建設計画 	17	<p>三石 孝</p> <ul style="list-style-type: none"> ※・官製談合防止対策 ・環境問題 ・予算の策定



田添 有喜 議員

河川整備の必要性は

町長

必要と考える

町内には県が管理する2級河川と町が管理する普通河川があり、早急に河川整備が必要である。

議員

実際に河川の状況を見てどう思うか。

町長

大雨や大型台風などによる河川氾濫の災害を防止する上で、浚渫や支障木の撤去は必要と思う。

議員

河川法では、県管理河川も町単独で整備ができる。なぜ踏み出せないのか。

町長

県が管理する河川に町の予算を執行する余裕がない。



支障木伐採の光景(岳辺田郷)



浚渫された皿山川(稗木場郷)

本町では、平成29年10月23日から新教育委員会制度がスタートした。本制度は会議の内容を公表することが原則となっている。

議員

広報波佐見で会議の様子が紹介されているが町民への会議内容の公表はどうなっているのか。

教育長

現在、会議録の公表はしていないが、今後、ホームページでの公表に努めたい。

議員

いじめと不登校の現状(件数)はどうか。

教育長

いじめの認知件数は、平成30年度は5件、令和元年度は1件。不登校件数は、平成30年度は13名、令和元年度は22名となっている。

つばき

近年の大雨や大型台風は、災害の予兆。早期対応を求める。最悪の状況を想定して具体策を講じることが危機管理である。





福田 勝也 議員

議員

本町では、接種の
法や段取りはどう

新型コロナウイルス感染
症が発生して1年を超え
た。ワクチンの開発により、
各自治体で接種の準備が進
められ、感染防止対策とし
て有効なものと期待される。

自治会の加入率は

町長

4月現在で 82.2%



城後 光 議員

議員

地区ごとの自治会加
入率はどのような状
況か。

コロナ禍において、自治
会活動も縮小を余儀なくさ
れている。加入率の減少や
高齢化などで自治会運営も
困難を増している。

町長

令和2年4月現在、
町全体では82.2%。
100%の地区もあるが、
宿郷では67.6%、岳辺田
郷では68.5%など。

議員

自治会の運営に対し
てどう課題を捉えて
いるか。

町長

人口が多い地区では
アパートなどで未加
入世帯の増加が顕著であ
る。その他地区でも人口が
減る中で、運営に不安を感
じられていると思う。

「歴史文化交流館」の開

館準備が進められている。
開館後も「陶芸の館」は引
き続き本町陶磁器の歴史展
示が行われる見込みである。

議員

歴史文化交流館と陶
芸の館はどのように
使い分けを行うのか。

町長

歴史文化交流館では
本町全体の歴史を展

議員

接種率向上のための
対応は。

町長

接種の機会を増やす
とともに、接種会場
まで移動できない方への送
迎バスの準備や、接種に不
安がある方には理解してい
ただく広報も必要と考え
る。

示す。その中で、波佐見
焼の展示は町発展への役割
や学術的な価値に重きを置
く。一方、陶芸の館は波佐



陶芸の館 (2018年5月)

見焼の歴史や製造工程など
を展示し、その魅力を発信
する施設とする。
両施設の相乗効果での魅
力発信に努めたい。

つぶ
やき

自治会長会で
議題に上がらな
い恒常的な地区
の課題も多いと考える。

多くの町民から
意見を出せる機
会をつくるべき。



議員

公募の方法は。

町長

試験日の約2か月前
から自治会回覧や町
ホームページ、防災行政無
線で公募している。令和2
年度は3回実施した。





藤川 法男 議員

廃石膏の有効活用を

町長

民間活力で商品化を目指す

町長 本町の産業廃棄物処理は、環境問題などでリサイクルを中心に行っていくと陶磁器業界や関係機関の間で決められた。今後、実証試験を重ね、安全性を確保し、将来的に窯業と農業の連携のもと民

議員

この事業をどのように推進するのか。

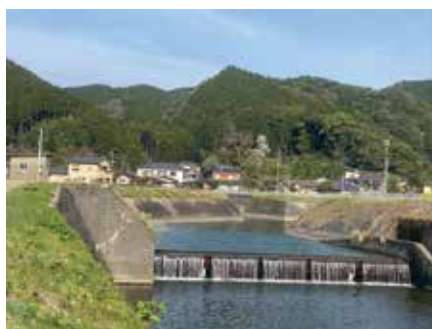
陶磁器製造で発生する廃石膏の再生や処理事業は、永年の課題であった。現在、多数の試作の中で農地の土壌改良剤として活用が模索されている。



めざせ！廃石膏のリサイクル

昭和53年度からの新農業構造改善事業で、下湯無田地区鶴の川橋下流に可動堰かどうげんが設置されたが、大雨時の濁流の圧力で故障が相次いで発生している。

間活力で土壌改良剤としての商品化を目指す。



早急な対応が待たれる可動堰

町長 この可動堰は、昭和56年に川棚川中小河川改良工事として長崎県河川課で建設された。その後、40年余り経過し、

議員

早急な対応をすべきと考えるが。

つぶやき
鶴の川の可動堰の故障は、年々悪化しているため、少しの雨でも転倒する。町と県の協議に期待する。



油圧の故障で転倒を繰り返している。まずは、水利組合で修理内容等を協議し、町へ要望してもらい、今後の対応を県などと協議したい。

ワクチン接種の方法は

町長

基本、集団接種で行う

なっているか。
町長 総合文化会館を会場として集団接種を行う計画である。国が示すとおり高齢者から接種を開始する。65歳以上の高齢者に接種意向調査を実施し、接種希望者を優先したい。



接種会場となるウェーブホール

年度	応募人数	採用人数
H28	69 (8)	4 (1)
H29	52 (17)	6 (4)
H30	33 (13)	7 (3)
R1	39 (8)	4 (2)
R2	101 (11)	12 (4)
計	294 (57)	33 (14)

※()は本町出身者

つぶやき
コロナ禍で制限された生活になっている。一刻も早いコロナの収束を願い、元の生活に戻りたい。ワクチン接種で感染防止を！





澤田 昭則 議員

町の将来像は出せるか

町長

できる範囲の中で
やっていく



岡村 達馬 議員

議員 令和3年度でも上水道料金や給食費の減免ができないか。

議員 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経済の低迷や所得減少の中、昨年の緊急生活支援事業として行われた町独自の施策は好評価だった。

町長 「環境保全と景観整備」「快適環境づくり」として自然エネルギー活用や景観計画の策定を行い、下水道整備では見直しを行っている。

議員 舞相から横枕間及び大日・館線は児童・生徒の安全な通学路や避難

ここ数年、波佐見町の町づくり計画は全てが縮小・削減案ばかりで将来の形態が見えない。

議員 次世代に残す、「安全で快適な住みよい町づくり」の具体的な提案はあるのか。

町長・教育長 今後の状況などを勘案し、何をどの程度まで実施できるか検討が必要。

令和3年度施政方針について

議員 下水道事業は快適で衛生的な生活のために普及させる必要がある。



途中で止まった大日・館線

道路として必要な道路である。なぜ都市計画道路から除外したのか。

町長 必要性などを再検討し、廃止の方向で見直しの事務手続きを進めている。

議員 新庁舎建設計画で教育委員会の移設は、基本計画どおり新庁舎でよいのか。

町長 町民の利便性や町政機能を統合させていきたい。

議員 役場新庁舎の事業費が大幅に膨れ上がっている。今、コロナ禍で町民も大変な環境にある。



波佐見中央浄化センター

町長 当該地区へは説明会を実施し、計画案についても縦覧を行っている。

縮小・除外で中央地区の一部だけが利用できる施設となる。当該地区への説明と地元同意は得られているのか。


町長 当該地区へは説明会を実施し、計画案について



町民霊園

つばやき

縮小、削減ばかりでは町づくりの方向性を見失う。町が整備されれば人も物も動く。このままでは町は発展できない。



普通の生活に戻るまで着工を延ばせないか。

町長 町民にとつても関心が高く多額の費用を要するため、必要な時期を見計らってお知らせしていく。



協坂 正孝 議員

社会教育主事の配置が必要では

町長

早く導入していきたい

5月には児童生徒に配布を計画しているが、すぐに授業等で活用はできない。児童生徒への指導は、教職員の研修などを行いながら、学年の実態に合った部分で、

いる。

教育長

1台のタブレット端末

議員 小中学校では、新年度からタブレット端末を使った指導が始まるが、具体的な時期や方法は、

施政方針に伴う教育行政について

好評価のコロナ対策をもう一度

町長

必要な対策は実施したい

令和2年度 減免措置

水道料金	約5,850件で3か月分3,100万円を減免
給食費	1,250人を対象に4か月分1,710万円を減免

議員

コロナ禍で申請者が増えている住宅性能向上リフォーム支援事業（一件10万円限）を増額できないか。

町長

申請者が増加すれば補正予算で追加検討したい。

議員

コロナ禍でも、お墓参りには行かれています。

町長

町民霊園はトイレが無く不便である。新設できないか。

議員

使用頻度や費用対効果の面から現状では設置は考えていない。

思う。

教育長

家庭への持ち帰りが将来的には理想だと思う。

議員

家庭での指導は、

9月頃からの活用が本格的に始まると考えている。基本的には学校現場の実態やニーズを大事にしながら、ゆとり確実に進めていきたい。

議員

社会教育の充実には社会教育主事の配置が必要。令和3年度に実現できないか。

教育長

資格取得のための予算は計上している。



児童生徒が使用するタブレット端末

研修期間が長期になるため、職員と協議する。
町長 資格を持った人を可能な限り、早く導入していきたい。

社会教育主事の未配置は県内自治体で本町のみである。

是非、3年度には導入してほしい。

つばき



コロナの収束が見通せず雇用

が安定しない中、多くの世帯で生計維持が難しい。更なる支援を。

つばき





尾上 和孝 議員

美工科を支援する時は

町長

今でしょう！



岡村 真由美 議員

全国的に少子化が進み、各地で学校の統廃合が行われている。波佐見高校美術・工芸科で長崎市や離島の美術を志す生徒などを受け入れない限り、定員割れは更に進むと心配している。

議員 町の発展のためにも無くしてはならない高校だと思うが、どうか。

町長 存続するために、存在感が高まるよう、高校側の特色ある取組を町としても支援したい。

危険な空き家が増える中、町の前向きな対策が必要である。

議員 土地を更地にした場合、土地に対する固定資産税の減免はできないか。

また、老朽危険空き家の

議員

松浦高校駅伝部、国見高校サッカー部、そして大崎高校野球部には、県立高校でありながらも各市当局が巨額の経済的



大崎高校野球部の寮

議員

空き家調査の結果は。

町長

平成28年の調査では建物の崩壊状態が50%以上と50%未済を合わせて、空き家が40件あった。

議員

市町村では、シルバー人材センターなどで家屋管理代行サービスがあ

支援を行い、大きな成果を上げている。「勝ったら支援する」ではなく「勝つように支援する」姿勢が大事だと考えるが、どうか。

教育長 町の発展に寄与する高校の改革・進展には大事だと考える。

議員

美術・工芸科の生徒・職員の士気や意欲をどう見ているか。

町長

県展にも毎年多数入賞・入選し、高く評

議員

テント施設1基、定員2名のテント施設2基程度。周辺設備は、炊事場やトイレ改修、物置、テーブル、キャンプ用品などの備品などを整備した。体験型観光など波佐見らしさを十分に盛り込みたい。

※グランピング：あらかじめキャンプ用品が用意されているキャンプ。

議員

キャンピング場として棚田や耕作放棄地の活用は。

町長 地元がまとめれば試したい。

議員

県立高校で唯一美術系学科を持つ波佐見高校。町発展の起爆剤にしない手はないですよ。美工科の寮もほしい。

つぶやき

県立高校で唯一美術系学科を持つ波佐見高校。

町発展の起爆剤にしない

手はないですよ。美工科の寮もほしい。





三石 孝 議員

概算見積りに対価制度を

町長

研究はしてみる

議員

対策内容は。

町長

入札のあり方や職員
の増員、職員倫理規
定の条理化などである。5
月の広報で周知する。

議員

今回の事件の原因は
何か。

町長

一人の職員に過大な
職務が偏ったことと
考える。

官製談合防止対策は、3
月をめどに作成すること
になっている。

危険空き家対策は

町長

調査研究していく

町長

今後年月が経って、
特定空家に指定せざ
るを得ない物件も出てく
ると思われる。近隣市町の動
向を踏まえながら今後調査
研究していく。

解体工事に補助金制度の創
設ができないか。

町長

が、本町はどうか。
本町にはない。

議員

施政方針について

町長

新年度予算でのキャ
ンプ場整備の内容は。
現段階では、定員4
名のグランピング※

議員

実施に向けての計画
は。

町長

コンプライアンス研
修は1回の研修に終
わらせない。毎月課内ミ
ーティングを実施し、ガイ
ドラインを使って職員の理
解を深める。

議員

工事などの概算見積
り業者を入札に参加
させているが、今後どう
するのか。

町長

概算見積りの協力業
者を入札に参加させ
ないのは失礼になるため、
これまでどおりに取り扱う。

議員

概算見積りにも費用
がかかる。経営者は
全て負担している。設計金
額や労務賃金などの支払い
で、入札とメリハリを付け
たらどうか。

町長

県に聞いたが、対価
を支払う方式は採用
していない。

議員

本町は普通の自治体
と違う。事件が三度
起こらないよう検討できな
いか。

町長

決して概算見積りを
もらうことが談合に



グランピングテント

つぶ
やき

危険な空き家
については、今
後、少子高齢化
や相続関係での問題も出
てくる。
早急な調査・
研究が必要。



繋がっているとは考えてい
ない。研究はしてみる。



つぶ
やき

官製談合対策
は、順調に進んで
いる。新年度に公
用の携帯電話も予算計上さ
れ、全てが整う。
あとはトップ
の姿勢が問われ
る。



傍聴者の声

3月定例会には延べ38人の傍聴者がありました。
いただいた意見の一部を紹介します。



・ 議員は町民の代弁者。年に4回（4時間）しかない一般質問には、毎回必ず登壇してもらいたい。
(60代 男性)



・ ニシケン工業の件は陶器業界全体で考えるべき。町としても排出については支援すべきと考える。
(60代 男性)



・ 資料だけもらって帰ります。傍聴の時間が取れないので、後日ケーブルテレビで見ます。
(60代 女性)



・ 資料の閉じ方に関しては、前回出した要望に即対応してもらい、見やすくなっている。町民に寄り添う姿勢が表れている。
(60代 男性)



～お知らせ～

「議員が提示する資料が、傍聴者にも見えるようにしてほしい」という意見が以前から寄せられていました。これを受け、6月定例会から議場にモニターテレビが設置されることになりました。たくさんの傍聴・ご意見をお待ちしています。



議長 発行責任者
百武辰美

委員 北村清美
副委員長 福田勝也
委員 岡村達馬
委員 岡村有喜
委員 田添有喜
委員 岡村真由美
委員 澤田昭則

議会広報調査特別委員会

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりました。コロナ禍でまだまだ制限された日常生活となっています。
ワクチン接種も始まり、コロナの感染拡大防止と収束を願ってやみません。
「議会だより」の編集にあたり、多くの方からご意見・ご要望をいただいています。
広報委員一同、町民皆さんにご愛読いただきますよう、なお一層精進していきたく思います。
(福田 勝也)

編集後記

